HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | 巻頭言 |
| Author(s) | 芒亭 |
| Citation | 各務同窓会報, 32 |
| Issue Date | 1942-01 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/77697 |
| Type | article |
| File Information | A010_0332S171.pdf |

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

# 各務同窓會報

新設獸醫學科校舍

## 卷頭言

芒亭

昨年の卒業式の日だつたと思ひますが、袂別の挨拶に來た新卒業生の一人に私は次の様な句を式紙に書いて贈りました。

又一騎　征くや興亞の　春の陣

此の句を見れば應召して出陣する人に贈つた様に思はれますが、其の卒業生は出征する人ではなかつたのです。今誰れでもさうである様に、其の人も卒業してすぐ就職する人だつたので す。私が就職する人に出陣の時の様な句を贈つたのは、就職し て職域奉公に從事する人も、出征する人も、共に興亞の陣營に參加するのだと思つたからでした。

職業は自己一身の生活の爲ではなく、それによつて國家に奉公する實踐形式であると云ふ事を、今こそ誰もがはつきりと識つて居る様であります。よく云はれる事であるが、獨逸語の Beruf と云ふ言葉や英語の Calling とか Vocation と云ふ言葉も、「神のお召し」と云ふ様な意味から職業と云ふ文字になつて居ます。然し言葉の語源がどんなものであつたにしても、歐米の個人主義的な國では職業は個人の生活の問題としてのみ考へられて居る様です。職業はそれに從事する事によつて神のお召に應する所以と云ふ様な考へ方は全體に奉仕する所以と云ふ様な考へ方は現在我が國に於いても餘り鮮やかに生きて居る様に思はれます。それは我々に於いては職域奉公とか高度翼贊と云ふ形に於いて體驗されて居ます。

卒業生諸君は現在多數の新銳多樣な職業に從事し又年々多數の新銳を加へて居ますが、それ等の同窓生諸君が皆それ〴〵の立場に於いて翼贊の誠を盡して居られる事を思ふと、力強いものを感じます。皇國の大きな歷史的進展の中に諸君が各々一役をかつて出て居る事を思ふと、壯觀な感じもします。

近く又諸君を並べて一百餘名、校門を去つて出て行きます。良き先達として指導してやつて下さい。

## 目次


卷頭言……芒亭……一
新設獸醫學科内容紹介……二
第一研究室……三
第二研究室……三
第三研究室……三
第四研究室……三
第五研究室……三
第六研究室……四
戰線便り……四
戰死者遺族便り……六
海風……北條安夫……六
はちすのつゆ……三樹立也……九
昭和十六年度代表委員會……一四
昭和十五年度決算報告……一五
昭和十六年度豫算案……一七
支部便り……一八
母校便り……二〇
編輯後記……二六





生澤萬壽夫　蛯川　親正
杉原　弘人　原田　格三
鈴木　決夫　村田　晉
奥村　君平　堀　敏男
宮崎　勝人　吉野　末雄
足立　茂　成瀨　明至
遠藤　尚道　田中　茂穗
尾關　淳男　横山　京一
佐藤　行孝　吉田　曉彬
八幡　清彦　小澤　尚久
栗岡　一郎　中屋　健治
石橋　之助　平松　利八
清本　寛　末澤　輝郎
（順不同）


拜啓其後各務同窓會員諸兄には益々御多祥の趣慶賀至極に奉存候陳者本日は記念品代として金一封御送附被下御芳情寔に辱く難有拜受仕り候

小生事昨年三月末城丸に轉任仕り岐阜の地を去りて將に一年近くと相成り候流石に十八年間住み慣れし岐阜の山川、又そこで生活を共にしたる岐阜高農の人々、忘れ得ざるは當然にして已れ一人群を離れたる樣な孤獨さへも感じ居り候同窓會員諸兄が京城の茅屋を草れられ岐阜の話など致し候事がせめてもの慰めに御座候當地に住む同窓會員諸兄には絶えず御目に懸り居り候第一回の靑柳君が滿洲旅行の歸途に、第八回の正木君が北支より內地に旅行の途次に、又清津に住む第八回の道光君、大邱に居られし第十二回の田中（岩男）君など態々御來訪被爲下如何ばかりかうれしく感じ申し候釜山に居る第七回の久保君、太田に居る第四回の井上君、咸南に居る第十五回の牛澤君等にも御目に懸り候

其後岐阜高農は小澤校長の統率の下に益々盛運充實し居り候由それが何より嬉しく存じ候岐阜と聞き高農と聞けば懷しさはつと致し候

小生事他に數多き者なれ共學校間報國に精進致し居り候へ共思ふにまかせず御恥しき次第に御座候京城に來てからは未だ一回も魚釣りに參らず候此頃氷結して居る漢江の氷上に穴を穿ち鮒を釣る人多く見受けられ候由に御座候へ共、寒むがりやの小生は話を聞いた丈でも縮み上り居り候當地の寒さは流石に物凄く去る十一日には零下二十二度に降り儘易致し候然しお陸をもつて當地に來て以來比較的健康には惠まれ居り候去年初秋に赤痢に罹り一ケ月餘病臥致したる外には、餘り大した病氣も致さず元氣に致し居り候

此後同窓會員諸君には大陸に往復される機會は多かる可く候間京城御通過の際には何卒御立ち寄りの程願ひ上げ候

先は御機嫌伺々迄況申し上げ候

敬具

一月二十八日

鈴木榮太郎

各務同窓會　御中

## 植村英雄氏逝去さる

元本校書記植村英雄氏は南病氣療養中の處四月四日遂に逝去された

氏は本校創立當時より會計課に勤務せられ、後ち陸軍に轉じて尺八を能くし同好の學生多數當に氏の門に出入して熱心なる指導に接し篤志なる態度を以て學生間に親しまれてゐた。

昨年四月廣島商船學校に會計課長として轉出されるまで本校在勤實に十八年間に及び氏の功績多大なるものがある依つて氏を知る有志の各位より弔慰金を募集いたし度く御賛同を請ふ次第である。

因みに長男雄一君は本校林學科第二學年在學中である。

（奥樣は　富山市曙町八　植村修方植村千代樣である）